

## 第1999回埼玉県教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和7年2月6日(木) 午前10時開会  
午前11時34分休憩  
午前11時44分再開  
午後0時49分終了
- 2 場 所 埼玉県教育局教育委員会室
- 3 出席者 日吉教育長、坂東教育長職務代理者、小林委員、首藤委員、櫻井委員、今井委員、佐藤副教育長、古垣教育総務部長、青木県立学校部長、吉田市町村支援部長、案浦参事、小谷野教育総務部副部長、杉田高校教育指導課長、高田義務教育指導課長、井澤財務課長、平野総務課長(書記長)、竹野谷県立学校人事課長、廣川魅力ある高校づくり課長、吉田県立学校人事課管理主事、黒澤県立学校人事課主任管理主事、田沼教職員課長、加山県立学校人事課主任管理主事、越小中学校人事課長、佐藤生涯学習推進課長  
小島書記、三橋書記、大久保書記、星野書記、縣書記
- 4 会議の主宰者 日吉教育長
- 5 会 議
- (1) 前回議事録の承認
- 全出席委員異議なく本件記載どおり承認
  - 日吉教育長が、今井委員を議事録の署名者に指名した。
  - 会議を公開しないこととする事項について  
日吉教育長が、第3号議案から第13号議案までの審議及び協議事項の協議について、会議を公開しないこととする動議を提出  
全出席委員がこの動議に賛成し、当該事項について会議を公開しないことに決定

o 日程の変更について

日吉教育長が、日程を変更し、会議を公開しないこととした事項以外の日程について先に行うこととする動議を提出

全出席委員がこの動議に賛成し、日程を変更することを決定

(2) 報告事項

教科等横断的な学びの推進に係る事業について

杉田高校教育指導課長（提出理由、目的、事業概要、成果、事業全体の課題と今後の方向性について説明）

櫻井委員 すばらしい取組だと思います。私も12月26日に行われた探究活動生徒発表会を見学させていただきましたが、県内全域の高校が集まるため、遠隔の学校はバスで来ている様子も見ました。せっかく生徒が発表する機会ですから、地域の方や保護者の方も集まれるよう、方面別で行うなど、身近で開催できればよいのではないかと感じましたので、将来的にそのようなことを計画できればお願いしたいと思います。

杉田高校教育指導課長 ありがとうございます。是非、そのようなところを検討させていただきたいと思います。

首藤委員 探究的な学びや学際的な学びは、これからの時代すばらしい取組になると思っております。成果と意義、そして課題と方向性は、こちらの報告書のとおりだと思います。一つ質問ですが、こちらを進めていくためには、教育課程を計画的に作り、実行していかないといけないと思います。例えば、総合的な学習の時間は年間70時間などですが、資料2ページに、環境をテーマにした学びなら、物質の性質は理科、歴史的背景は社会などとあります。理科の年間授業時数は、中学校では140時間ぐらい、社会も同じぐらいありますが、その時数を探究の時間や総合的な学習の時間に回して探究活動を充実させる取組を行っている、そのような教育課程を作っているところもあるのでしょうか。あるいは、社会は社会、理科は理科で別に行い、あくまでも探究活動は総合的な学習（探究）の時間で行っているのでしょうか。どのような教育課程の編成となっているのか教えて

ください。

杉田高校教育指導課長 高校では、教科と学びは単体でも必要ではありますが、先ほど坂戸高校の例を挙げましたように、ほかの教科の先生にも入ってもらい、横断的に探究を進めるなどしております。あとは、その取組を生かして、それぞれで学んだことを総合的な探究の時間で意識させながら行っております。ただ、課題としましては、生徒の感想にもありましたが、教科で学んだことが探究活動の課題解決になかなか生かしていないところがございますので、そのようなところは、教科で学んだことをもっと深く学び、実際の場面で使えるようにするなど、探究に使えるような必要があると考えております。次に、カリキュラムについては課題がございまして、探究活動の総合的な探究の時間自体は充実しておりますが、全体的なカリキュラムで見たときに、他の教科との関連性は課題が少しありますので、事業期間の3年目に向けて、そのようなところはしっかりと検討して、学校に指導していきたいと考えております。

高田義務教育指導課長 小中学校の取組でございますけれども、今回モデル校として取り組んでいる学校においては、やはり教科等横断的な学びを推進するに当たって、指導計画の作成や単元の配列表などで各教科のつながりを見える化していくことを大事にしております。探究的な学び、教科等横断的な学びに当たっては、総合的な学習の時間が中心にはなりますが、それ以外のそれぞれの教科においても、つながりを意識して取り組んでまいりたいと考えています。

首藤委員 教科は教科で決められた時数もありますし、それはそれでしっかり授業をしながら、その関係性をおそらく單元ごとに示されているのかと思います。示すことで、生徒の方は、例えば理科や社会を学習している中でも、総合的な学習（探究）の時間のことを想起しながら学んでいる、そのような関係性を示しているということですね。

坂東教育長職務代理者 例えば、今の教科書では、QRコードや「このようなことも考えてみよう」といった單元があり、おそらくそのようなところをもう少し意識付けして、教科の時間では無理だけれども、総合的な学習（探究）の時間で合わせて行うなど、結構広がって教えられる内容につながっているような気がしま

した。ですから、そのように工夫されている内容を、しっかりと教えられていることは、社会でこのような意味があるという位置付けを、もう少し有機的にされていけば、より今回の実証実験などがつながるように思いましたので、是非その辺り頑張ってくださいと思います。こちらの事業は、12校の高校と9校の小中学校がモデル校となり3年間行われるとのことですが、3年経った後、次はどのようなことが計画されているのでしょうか。

杉田高校教育指導課長 モデル校の一つのミッションとしましては、他校においてモデル的なカリキュラムを作ることがございます。まずは、この3年間で開発したカリキュラムを他校で普及できるような取組、他校に対して既に教材等公開しているところもありますが、全県に展開できるような形で進めてまいりたいと考えております。

小林委員 こちらの事業は、研究をして普及することが目的だと思いますけれども、今までの説明ですと、どちらかというと学校間の普及、横展開が結構強く出ていると感じました。3年の事業が終わった後、他校に横展開で普及していくためにも、大学や企業、自治体などそれぞれの地域にいる方々や、これから進学を考えている中学生がこの高校でこのようなことをしたいという部分では、県立高校の魅力の発信にもつながってくる内容だと思います。学校関係や、学校関係以外の県民の方へ、こちらの取組を普及する視点での取組は今行われているのか、今後その辺りの予定があるのか教えてください。

杉田高校教育指導課長 今年度の探究活動生徒発表会は、1,000人を超える会場の規模ではなかったため、中学校等には案内はしませんでした。今後はこのような発表会や各学校の取組を中学生にも案内をして、是非見に来ていただけるよう検討していきたいと考えています。

今井委員 資料12ページに、実際に子供たちがあまり探究活動に教科で学んだ知識や技術を生かしていないというアンケート結果があります。そもそも探究活動や、なぜ教科として入っているのか、これを行うことによって将来どのようなつながるのかということが、教科だからやらなければいけないと思っている子供たちが多いかと思います。これを行うことによって、どのようなところにつな

がっていくのかという説明は、どのような形でされているのでしょうか。

杉田高校教育指導課長 委員おっしゃるとおり、教科で勉強するとき、例えば英語の文法だけの勉強になってしまうのではなく、やはり実際に使う場面、例えば、学会で発表する場面を設定するなど、各学校では学習指導要領に基づいて行っておりますが、なかなか不十分なところもあるかと思います。このようなところで、今後、各教科、研究協議会等で指導してまいりたいと考えております。

今井委員 高校生などは、やはり進路、自分が今後何を学んでいきたいかということに、とてもつながりやすい教科だと思いますので、是非これからも探究活動を楽しみにしています。

日吉教育長 こちらの探究活動については、私が考えるに、やはり教員の資質というか教え方のようなものをしっかり向上させていかなければいけないと思っています。県立高校では、オンラインで研修会をしていますけれども、研修を受講する先生方の数をもっと増やしていく必要があると思っています。その辺りの考え方、今後の先生に対する研修の在り方について、何か考えていることはあるのでしょうか。

杉田高校教育指導課長 今年度、教員への研修を7回ほど実施しましたが、実際には昨年度より少し参加人数が減っております。原因については、みんなで一緒にオンラインで研修を見ているといったことも考えられますが、やはり今後もっと生徒に生きた学びとするためには、先生自身も探究などをできるようにしていく研修の重要性を、校長先生からも言っていただいて、研修に参加する機会を是非進めて、参加する教員を増やしてまいりたいと考えています。

日吉教育長 私も校長のときに探究の学びを行い、見ていたので分かるのですが、やはりなかなか教材などを作成するのは相当苦勞もあります。普通教科、科目の授業であれば、プログラムの確立したものがあるので、ある意味教えやすい部分がありますが、総合の時間は裁量や子供の実態に合わせてという部分があり、そのような面で御苦勞があるかと思います。今後とも、しっかり先生方に対する研修を進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(3) 次回委員会の開催予定について

2月21日（金）午前10時

<非公開会議結果>

議事

第3号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第4号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第5号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第6号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第7号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第8号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第9号議案 県議会令和7年2月定例会提出予定案件について 上程  
知事が作成した県議会令和7年2月定例会提出予定案件について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を述べました。

第10号議案 教職員の懲戒処分について 上程  
非違行為を行った南部地区の県立高等学校の男性教諭（44歳）に対して、免職す

る懲戒処分等を決定しました。

第11号議案 教職員の懲戒処分について

上程

非違行為を行った越谷市立東越谷小学校の男性教頭（53歳）に対して、戒告する懲戒処分を決定しました。

第12号議案 教職員の懲戒処分について

上程

非違行為を行った南部地区の公立小学校の男性教諭（34歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

第13号議案 教職員の懲戒処分について

上程

非違行為を行った東松山市立白山中学校の男性教諭（54歳）に対して、免職する懲戒処分等を決定しました。

協議事項

次の事項について、協議を行いました。

県立げんきプラザ再編整備計画（案）について